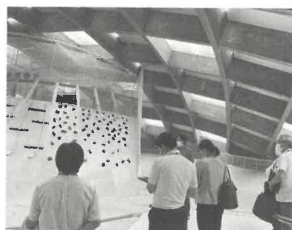


行政視察報告

【総務文教委員会 6月28～29日】

■山形県鶴岡市「全天候型の子どもの遊び場について」

平成30年に「キッズドームソライ」（民間施設）として開業。施設内には様々な工夫があり、子どもたちの興味と好奇心をそそり、大人でも子どもたちと一緒に居やすい居心地の良い空間演出がされており、「アソビバ」としての体を動かして楽しむ屋内遊戯施設だけではなく、想像力も掻き立てる「ツクルバ」の環境や様々な工夫が、ものづくりから成長へとつながる児童のための教育施設であると感じました。



■山形県東根市「PFIを活用した複合型施設の整備について」

複合型の公益文化施設『まなびあテラス』を視察。図書館、美術館、市民活動支援センターの機能を1つにまとめ、カフェも施設内に入って大変居心地の良い空間の施設であり、駅や商業区域にも近く人の流れとロケーション的にも交流できる良い施設でした。「まなびあサポーターズクラブ」の活動状況も参考に見附市の市民活動やボランティアに対してもよりよい各市民活動となるように良い変化が必要とも感じました。

副委員長 樺澤 直純

【産業厚生委員会 6月28日】

■南魚沼市「事業創発拠点の取り組みについて」、「牧之通り暮らしまちなみ出会い空間整備事業について」

起業・創業を目指す人の支援を行うため、「南魚沼市事業創発拠点」を令和4年4月より六日町駅1階に開設。六日町駅前には市役所、図書館、ショッピングセンター、病院等、日常生活における施設が整っている。見附駅利用者は4,000人/日の昇降客で7割が高校生。駅前周辺に賑わいを創発する拠点にするには、核となるべき施設が欠かせないと思います。できるならば、当初の計画にあった見附駅前の日通倉庫をリニューアルして市民の交流施設として活用できれば見附駅前周辺整備の観点が見えてくる様な気がしました。

牧之通りについては、世代交代をするにつれて、買い物のスタイルも変化して行く事から、組合維持についての難しい面が今後出てくるのではないかと感じました。

副委員長 徳永 英明



駅内の事業創発拠点